

1 市の概要

	人口	面積	財政力指数	高齢化率	議員定数
富士見市	104386 人	19.70 km ²	0.79	15.3%	21
上田市	163651 人	552.00 km ²	0.66	23.1%	31

2 市の特徴

<別紙、添付資料>

3 視察事項について

<別紙、添付資料>

報 ○ 市民会館キラリ☆ふじみにて

告
内
容



○ 上空から見た「市民会館キラリ☆ふじみ」



* 視察先の写真等がある場合は添付のこと

○市民会館キラリ☆ふじみの基本理念

- ・全市民が文化に接し、日常的に文化に関わることを基本理念にして、「ひとづくり」「まちづくり」「未来づくり」を具現化するコンセプトでした。したがって、芸術の鑑賞型ではなく、市民の文化活動を支援する施設という位置づけです。
- ・そのために、大ホールの客席なども市民がより利用しやすいように、802席とした。上田市では、現在の1330席程度から1700席まで様々な意見が出されているが、富士見市の場合、はっきりと芸術鑑賞ではなく、市民の文化活動を支援する公共施設との基本理念としたため、その後の利用状況は模範となるぐらいです。

○大ホールの利用率が90%

- ・出入口の工夫、スタジオは一時間単位の貸し出しなど、利用率向上のために様々な工夫をしています。また、市民が利用できる客席数にしたために、大ホールの利用率は89・9%となっており、当初の目的が立派に果たされています。上田市でも、建設後の利用率向上を今から考えるべきです。

○芸術監督の有無について

- ・初代芸術監督は、平田オリザ氏（日本の劇作家、演出家。青年団主宰、こまばアゴラ劇場支配人、内閣官房参与、大阪大学コミュニケーションデザインセンター教授、首都大学東京客員教授、日本劇作家協会理事。桜美林大学文学部助教授、桜美林大学総合文化学群教授、東京大学教育学部講師、早稲田大学文学部講師などを歴任。
- ・直接ご本人と交渉して初代芸術監督になってもらった。週に一回は来館してもらい、月15万円（年180万円）「日本文化を育てていきたい」という熱意を持っている方で、現在は三代目の館長となっている。
- ・建物を建てただけでは、文化は育たないので「芸術監督」は必要とのことでした。上田市でもこの点は、よく検討していく必要があります。